

# 令和元年度 東小学校の学力向上に向けての取組

岩国市立東小学校

4月18日(木)に全国学力・学習状況調査が行われました。その結果から見えた課題解決に向けて、東小学校では以下のような取組をしています。

## 1 全国学力・学習状況調査の結果

教科名	全国平均と比べた結果
国語	下回っている
算数	やや下回っている

## 2 結果から見える成果と課題

### (1) 国語科

目的に応じて本や文章を概観して効果的に読んだり、自分の考えを明確にしながらか読んだりする力が身につけている傾向が見られます。一方で、文の中で漢字を適切に使うことや、ことわざを正しく理解することには課題が見られます。

### (2) 算数科

示された計算方法や面積の求め方などを解釈し、それを適用して自分の考え方を説明する力が身につけてきている傾向が見られます。しかし、図形の構成や割合の概念、混合式の計算など、基礎的な知識・技能については課題が見られます。

## 3 課題解決への取組

### (1) 朝学習(パワーアップタイム)の充実

月・火・金曜日の8時15分から10分間をパワーアップタイムとして、基礎的・基本的な内容を定着させたり、活用力を身につけさせたりするための学習に取り組んでいます。特に、国語科では同音異義語やことわざの使い方など、算数科では四則計算の練習や割合の基礎的な問題などに取り組んでいます。

### (2) 日常の授業実践の充実

友だちとかかわり合う活動を通して、自分の考えを広げたり、深めたりすることができるような授業づくりに取り組んでいます。その中で、自分の考えの理由や根拠を明確にして、相手にわかりやすく伝える力を身につけていけるよう心がけています。また、既習事項も丁寧に確認しながら授業を進めることで、基礎・基本の定着を図ります。

### (3) 学力向上に向けて年2回の検証・改善

4月に全国学力・学習状況調査を実施し、調査により明らかになった課題を解決するため、全教職員での研修を行っています。また、10月には山口県学力定着状況確認問題を実施し、結果を分析して授業改善に生かしていきます。

#### (4) 家庭学習の充実

年度当初に配付した「家庭学習の手引き」に沿って、家庭学習の充実を図っていきます。また、「家庭学習パワーアップ週間」を実施し、家庭と連携することでより確かな学力の定着をめざしていきます。その際、「家庭学習パワーアップ週間」の意義について児童に改めて説明し、学習習慣を身につけることの大切さを意識できる取組を実施していきます。

#### (5) 小中一貫教育の充実

東小中一貫教育校の開校に向けて、9年間を見通した学びの推進ができるように東中学校とカリキュラムの試行・修正を続けています。今年度も東中学校の教員に授業に入ってもらい、また、小学校の教員全員が中学校の授業に入ることで、少人数指導の充実と教員の授業力向上を図ります。

### 4 各学年の努力目標

学年	努力目標
1年	<ul style="list-style-type: none"><li>・パワーアップタイムや家庭学習を活用し、漢字や計算等の基礎的な力を定着させる。</li><li>・読書等を通して、語彙を増やしたり、読むことに慣れさせたりする。</li></ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"><li>・パワーアップタイムや家庭学習で既習事項を繰り返し学習させることにより、基礎基本の定着を図る。</li><li>・音読や読書に継続して取り組ませることにより、読解力を身につけさせる。</li></ul>
3年	<ul style="list-style-type: none"><li>・言葉の関係をとらえる問題や計算問題に繰り返し取り組みせ、基礎的な学習内容の定着を図る。</li></ul>
4年	<ul style="list-style-type: none"><li>・関連する既習事項を押さえながら学習を進めることで、基礎的な学習内容の定着を図る。</li><li>・授業の中で自分の考えを表現する活動を取り入れ、相手にわかりやすく伝える力を伸ばす。</li></ul>
5年	<ul style="list-style-type: none"><li>・様々な教科において同音異義語が出たときに関連づけていく。</li><li>・割合や単位量などの内容について基礎基本を身につけられるよう、授業改善を行うとともに、やまぐち学習支援プログラムを使用したり、活用問題に特化したプリントを作成したりして、取り組んでいく。</li></ul>
6年	<ul style="list-style-type: none"><li>・パワーアップタイムを使って、苦手な問題の対策をしていく。</li><li>・漢字の学習の時間に国語辞典を使って意味を調べさせ、同音異義語について意識づけていく。</li><li>・算数科では単元によって習熟度別指導を取り入れ、児童の実態に応じて指導を工夫することにより、学習内容の定着を図る。</li><li>・「Go Go 読書」の冊数を上回るように読書活動を推進する。</li></ul>

このように、日々の取組や授業実践を通して、本校児童の学力の課題解決に向けて取り組んでいます。